



Books column

本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報。
授業の中だけでは見られない
先生の違った一面に触れることができます。

立田 ルミ(名誉教授)共著

『大学における情報プレースメントテスト』

日経BPマーケティング 2019年3月

大学での基礎情報教育はもう必要ないと思われがち。しかし、情報処理学会一般情報処理委員会のメンバーの大学で調査した結果、有名大学でさえ、基礎知識が不足しているという意外な結果が得られた。調査結果に興味のある先生・学生に無料で送付(数量限定)。



大谷 基道(総合政策学科教授)共編

『現代日本の公務員人事 — 政治・行政改革は人事システムをどう変えたか』

第一法規 2019年1月 2900円

90年代以降の一連の政治・行政改革の下で、中央省庁及び地方自治体の公務員人事システムがどのように変化してきたかを実証的に分析し、また、今後どのようにあるべきかを示した、研究者や自治体人事担当者のための一冊。



半田 滋(言語文化学科非常勤講師)著

『安保法制下で進む!先制攻撃できる自衛隊』

あけび書房 2019年5月 1500円

国民生活を犠牲にしてのアメリカからの武器の爆買い、激増する「防衛費」。「軍事機密」の増大。護衛艦「いずも」空母化だけでなく敵地先制攻撃型兵器の拡充。安倍政権下で急速に変貌しつつある自衛隊の姿を第一線新聞記者が描きます。



山本 英政(言語文化学科教授)著

『ハワイの日本人移民』

『人種差別事件が語る、もうひとつの移民像』

明石書店 2019年4月 2800円

ハワイに多くの移民を送り込む日本。脅威を抱いたハワイ為政者(アメリカ系白人)と日本人移民とのあいだに起こった人種差別事件を、双方の視点から再考しています。これまで「被害者」として扱われてきた日本人移民の姿に、新たな解釈を与えています。



新井 孝重(経済学科教授)著

『中世日本を生きる 遍歴漂流の人びと』

吉川弘文館 2019年6月 2400円

中世前期、耕地は不安定で農民も武士も土地に根を張れなかった。底辺に生きる非人や遍歴する芸能民。襲いかかる災害・飢饉・病など、厳しい環境のなかで人びとはどのように生き抜いたのか。中世の社会史を読み解きます。



尾玉 剛士(フランス語学科専任講師)分担執筆

『教養としてのヨーロッパ政治』

ミネルヴァ書房 2019年6月 3500円

ヨーロッパを理解するための基本的な「教養」として、歴史、政治制度、現在の主要な政策の状況をシンプルにまとめた初学者向けの入門書です。西欧、北欧、中・東欧、周縁国、そしてEU全体と一冊でヨーロッパ政治を網羅的に捉えます。



矢羽々 崇(ドイツ語学科教授)著

『「歓喜に寄せて」の物語(改訂版) — シラーとベートーヴェンの「第九」』

現代書館 2019年7月 3000円

「ベートーヴェンの第九」として誰もが知っている名曲「歓喜に寄せて」。大正時代から日本でもおなじみのこの名曲には秘められた歴史があった。ドイツ文学史・近代史の流れの中で名曲の歴史に新たな光を当てる。品切れが続いていたロングセラー待望の増補改訂版です。

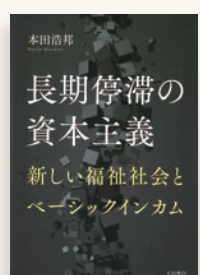


本田 浩邦(経済学科教授)著

『長期停滞の資本主義 新しい福祉社会とベーシックインカム』

大月書店 2019年7月 2500円

経済と社会の「二重危機」に対するリベラな民主的代替戦略とは?長期停滞のもとのネオ・ファシズムの台頭、雇用と社会保障の劣化、地方衰退にどう立ち向かうか。100年を超える歴史的視野から現状を分析し、日本型ベーシックインカム論を提示します。



■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。